

富山県

No.88 2018年7月

中央植物園だより



第20回私の植物写真展入選作品「紫色の趣」 撮影 / 小柴 一夫さん

アーツィチョーク（キク科）

野生種は地中海沿岸、カナリア諸島に分布するアザミに似た多年草で、蕾を食用にする品種がヨーロッパやアメリカでは栽培が盛んです。園内では観賞用品種の花が6～7月に開花します。

早朝開園「ハスの花の観賞会」

今年も早朝開園「ハスの花の観賞会」を7月21日（土）・22日（日）の2日間開催します。この2日間は朝6時に開園します。

ハスの花は朝まだ暗い時間から咲き始め、7～8時ごろに最大に開き、午前中でほぼ閉じてしまいます。通常の植物園の開園時間（9時）では見ることのできないハスの花の最も美しい姿をこの機会に観察してみませんか。



「第39回 春のラン展」開催レポート

第39回春のラン展を5月4日から6日まで富山県蘭協会との共催で開催しました。今年は早春からの異常高温の影響で多くの植物の開花が早まったにもかかわらず、エビネやセッコクなど約300鉢のランの作品が出品されました。今年の特別展示は「エビネの形態と生態」と題し、エビネの花の多様な形態をパネルと実物で解説しました。開催期間中は天気にも恵まれたうえに連休中ということもあり、会期中約3500人の方が来園され観賞されました。



展示にあわせて見事に咲きそろったエビネ。



ホール正面に展示された入賞作品。



蘭協会会員によるエビネの栽培講習会

公開講演会「富山の外来生物」開催レポート

5月12日（土）に富山県生物学会との共催で公開講演会「富山の外来生物」を開催しました。講演会のテーマが県内でも侵入被害が拡大しつつある外来生物であったためか、110名を超す多くの方が聴講されました。

植物だけでなく昆虫、魚類、貝類等、両生・爬虫類、哺乳類の各専門家によって、富山県内でのそれぞれの外来種の侵入状況が紹介されました。また、行政側からその対応などや、国内外来種による遺伝子汚染についての事例紹介がありました。

県内でも今後さらに多くの外来生物の侵入が予想されることから、参加者は熱心にメモを取りながら聴講していました。また講演終了後には、意見交換が活発に行われました。



植えてはいけない花ー特定外来植物の説明をする中田園長



特定外来種のおオキケンギク



園内の温室に侵入したハクビシン



質疑応答の様子

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物（5）

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された1900点余りの植物画が収蔵されています。その中から、7月から9月の植物を紹介します。



ノウゼンカズラ（1949年7月制作）
横40cm×縦55cm

ノウゼンカズラの開花は7月中旬から9月下旬かけてです。園内では東休憩所横に園芸品種‘マダム・ガレン’を植えています。



ヒオウギ（1957年7月27日制作）
横40cm×縦55cm

高山・絶滅危惧植物室で8月から9月上旬にかけて開花します。県内にも自生していますが、自生地が少なく絶滅危惧植物に指定されています。



ナツズイセン（1981年9月1日制作）
横28cm×縦37.5cm

ヒガンバナの仲間で園内では球根の植物コーナーで8月下旬から9月上旬に見頃となります。

富山の植物 ◎『ツガザクラの仲間』

企画情報課長補佐 吉田 めぐみ

ツガザクラの仲間はツツジ科の小さな低木で、高山の雪渓周囲の岩礫地や草地の地面近くにカーペット状に生育します。ツガザクラの名前は葉のふちが裏面に巻き込んで線形になり、針葉樹のツガに似ていることにちなみます。ツガザクラ *Phyllodoce nipponica* Makino の花は白い釣鐘型で口は広く、がくと花柄は紅紫色です。アオノツガザクラ *P. aleutica* (Spreng.) A.Heller の花は緑っぽい黄色で、口は絞ったように狭い壺型です。この2種の雑種がオオツガザクラ *P. × alpina* Koidz. で、花の形は壺型で大きく、がくと花柄は紅紫色を帯びるものから緑色に近いものまでバラエティに富んでいます。立山の室堂平では8月初めに花を咲かせます。



図1. ツガザクラ



図2. アオノツガザクラ



図3. オオツガザクラ

バニラの花って見たことありますか？

暑くなるとバニラアイスクリームを食べる機会も多いかと思いますが、このバニラの香りのもと、ランのバニラの果実を乾燥し、発酵させた、バニラビーンズと呼ばれるものです。

バニラビーンズは店で売られているのでご存知の方も多いと思いますが、果実が出来る前の花を見たことがありますか？

写真のようにランとは思えないくらい地味な花をつけます。中央植物園では2012年以來の開花で、1つの花は1日でしぼんでしまいます。4月下旬から6月まで熱帯果樹室で咲いていました。



写真 熱帯果樹室のバニラの株（左）と花の拡大（上）

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

夏のラン展

7月7日（土）～7月8日（日）

私の植物写真展

7月27日（金）～8月22日（水）

苔写真展

8月24日（金）～9月5日（水）

友の会植物画部会「ボタニカル・アート展」

9月7日（金）～9月26日（水）

第2回サボテン・多肉植物展

9月28日（金）～9月30日（日）

特別展「リンゴ展」

10月5日（金）～11月18日（日）

■夜間開園

ゲッカビジン観賞

6月下旬～7月下旬（開花日2日間）

19:00～21:30

夜間入園料／250円

夜の熱帯植物探検

7月27日（金）～7月28日（土）

19:00～21:00

夜間入園料／250円

■早朝開園

ハスの花の観賞会

7月21日（土）～7月22日（日）

6:00～

■夏休み子ども企画

「森のクラフト」

7月24日（火）～8月29日（水）

「オオオニバスに乗ってみよう」

8月17日（金）～19日（日）

各日も午前 9:30～11:30

午後 13:30～15:00

■ボタニック・ガーデニングクラブ

（高校生以上対象、定員に達し次第締切）

多肉植物で楽しい寄せ植えづくり

◎要申込

9月29日（土）・30日（日）

両日とも 13:30～15:30

定員：各日20名

参加費：1000円

リンゴでカービング ◎要申込

10月14日（日）13:30～15:30

定員：15名

参加費：500円

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

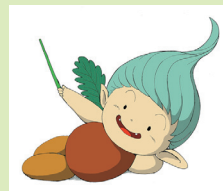
集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

9月1日（土）、10月6日（土）

14:00～15:00

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料（12月～2月）

大人（一般および大学生）300円
団体料金（20名以上）240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き（休日のみ）に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分